

2023

ミニディスクロージャー誌

～ J A 事業のご報告（令和 5 年 8 月期）～

1. 組合長挨拶



組合員の皆様には、日頃より、J A 事業に対しまして特段のご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ディスクロージャー誌の作成にあたっては、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J A の主な事業の内容や経営の内容などについて、わかりやすくまとめました。

皆様が、当 J A の事業をさらにご利用いただくための一助として是非ご一読いただきますとともに、今後も一層のご理解とご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 1 0 月 はが野農業協同組合

代表理事組合長 国府田 厚志

2. 農業振興活動

当 J A では、持続的に所得増大・生産拡大・地域活性化について様々な取り組みを実施しております。現在取り組んでいる、J A 自己改革「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「経営・財務基盤の強化」について皆様に知っていただきたく、その取り組みの一部をご紹介します。

1. 農業者の所得増大

直販事業の強化・拡大のためパッケージセンターを核とし、生産者の選別労力軽減と量販店ユーザーの多様な要望に対応するアイテム提案及び安定的な出荷体制の確立を進めながら、園芸振興の強化と販売高の向上に取り組みました。

また、令和 2 年 9 月 7 日から、真岡ライスセンターと山前ライスセンターを統合した、真岡東部共同乾燥調製施設（真岡東部ライスセンター）が稼働しました。地域農業者の労働力軽減と J A の財務基盤の強化、安全・安心・高品質でばらつきのない米の供給を目的としており、異なる品種のもみと玄米を同時に処理出来る特徴があります。はが野ブランドの確立に向けて、担い手の確保と合わせた販売戦略の拠点として、施設を最大限に活用してまいります。



2. 生産コスト削減による所得増大

「最近除草剤をかけても効かない草が出てきた」との声に応え、有効性のある茎葉除草剤大型ボトルのセールを開催しました。また水稻肥料の値下げも継続して行っています。

今後も全農との共同協議や市況調査を継続し、引き続き生産コストの低減に努めてまいります。

3. 地域貢献情報

●地域貢献に対する考え方

当 J A は、真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の郡内 5 市町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。当 J A では、「愛・生命そして未来へ」をビジョンとして掲げ、運営・経営にあたっております。

当 J A の資金は、その大半が組合員の皆様等からお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当 J A では資金を必要とする組合員の皆様方や地方公共団体等にもご利用いただいております。

また、J A の総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

当 J A では、大規模災害に対する対応方針で事業継続計画（BCP）を策定し、災害時においても事業継続を行うことに最大限努めております。

組合員及び出資金の推移

	令和 5 年 2 月末	令和 5 年 8 月末
正組合員	14,891 人	14,823 人
准組合員	4,896 人	4,944 人
合 計	19,787 人	19,767 人
正組合員戸数	12,667 戸	12,592 戸
准組合員戸数	3,928 戸	3,974 戸
合 計	16,595 戸	16,566 戸
出資金	3,956 百万円	3,966 百万円

●地域からの資金調達の状況（8 月末）

貯金・積金平均残高

組合員等	154,271 百万円
その他	37,236 百万円
合 計	191,508 百万円

（注）左記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金 3,198 百万円が含まれています。

●地域への資金供給の状況（8月末）

（1）貸出金平均残高

組合員等	29,044百万円
その他	7,079百万円
合 計	38,822百万円

（注）左記「その他」には、地方公共団体等への貸出金7,079百万円が含まれています。

（2）融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	23,481百万円
教育ローン	117百万円
自動車ローン	1,152百万円
営農ローン	405百万円
農業資金	1,747百万円
日本政策金融公庫資金	—
農業近代化資金	530百万円
畜産特別資金	—
災害条例資金	0百万円
その他制度資金	4百万円
その他	11,373百万円
合 計	38,822百万円

（注）上記のうち「日本政策金融公庫資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金等」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。制度融資には大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体、JAが利子補給を行う制度があります。前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金（農業改良資金、就農支援資金含む）であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

●文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。

このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。

組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

（1）地域住民との交流

次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食への地元農畜産物の提供、図画・作文コンクールの開催、社会科副読本の提供、「未来ちゃんクラブ」※による田植えや収穫作業といった農作業体験を通じて、農業への関心を高める取り組みを行っています。また、貸農園での農業体験や直売所での地元農産物の販売などにより地域住民との交流に努めています。

（2）くらしの活動

組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、くらしの活動を展開し、JAまつり※や趣味の会、女性大学※を開催するなど、利用者ネットワークづくりへの取り組みを進めています。

また昨年に引き続き、農業体験を通じて農業や国産農畜産物への理解や、JAとの関係強化を目的に、「男前クラブ」を開講しています。

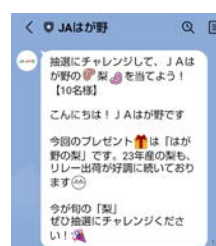


（3）情報発信活動

組合員の皆様向けに、毎月広報誌「ベリーネットはが野」を発行して、JAの事業や地域の情報を発信しています。あわせて、インターネット上にホームページを開設して身近でタイムリーな情報発信に努めています。

また、各地区が「地区だより」を発行し、独自の地域情報を発信しています。

LINEを活用した情報発信では、お得なイベント情報やはが野の旬の農産物が当たる抽選を随時開催しています。さらに、LINEの速報性を活用し、米施設の臨時稼働や自然災害等への対策情報などの緊急情報も、リアルタイムで発信しています。是非ご登録ください。



（4）地方創生に関する事項

芳賀郡市内の1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）との「包括連携協定」を締結し、地方創生推進により地域の活性化に取り組んでいます。

（注）※印に関しては、新型コロナウイルスの影響で中止・延期・縮小している活動内容があります。

（5）店舗体制

店舗及び事務所名	住 所	電話番号	ATM設置台数
本店	真岡市八条95	0285-83-7725	0台
真岡支店	真岡市中郷219-1	0285-84-6611	2台
二宮支店	真岡市久下田1710-1	0285-74-0020	2台
益子支店	益子町益子1994-5	0285-72-3246	2台
茂木支店	茂木町増井33-2	0285-63-1105	2台
市貝支店	市貝町市塙1226	0285-68-1311	1台
芳賀支店	芳賀町祖母井南1-2-1	028-677-0080	2台

4. 農協法に基づく開示債権の状況及び 金融再生法開示債権区分に基づく債権の 保全状況

(単位：百万円)

債権区分	令和5年	債権額	保全額				(参考) 購買未収金
			担保	保証	引当	合計	
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権(A)	2月末	274	144	50	79	274	59
	8月末	311	141	68	101	311	65
危険債権 (B)	2月末	268	23	154	90	268	18
	8月末	240	30	119	89	240	21
要管理債権 (C)	2月末	-	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
	三月以上 延滞債権	2月末	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
	貸出条件 緩和債権	2月末	-	-	-	-	-
	8月末	-	-	-	-	-	-
小 計 (D=A+B+C)	2月末	542	168	204	169	542	78
	8月末	551	172	188	190	551	86
正常債権 (E)	2月末	37,746					604
	8月末	39,073					772
合 計 (D+E)	2月末	38,288					683
	8月末	39,624					859

(注)

- 令和5年2月末から令和5年8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 債権区分は、次のとおりです。
 - 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 - 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
 - 危険債権
 - 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
 - 要管理債権
 - ④「三月以上延滞債権」と⑤「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
 - 三月以上延滞債権
 - 元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
 - 貸出条件緩和債権
 - 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
 - 正常債権
 - 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

5. 単体自己資本比率

令和5年2月末	令和5年8月末
19.74%	20.01%程度

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

6. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和4年8月末	令和5年2月末	令和5年8月末
貯金	190,158	193,078	189,802
貸出金	37,910	38,231	39,562
預金	130,452	132,334	127,980
有価証券	20,969	20,105	21,444
(参考) 購買未収金	802	683	859

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

7. 有価証券の時価情報

[売買目的有価証券]

売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

[満期保有目的の債券]

(単位：百万円)

種 類	令和5年2月末			令和5年8月末		
	貸借対照表 計上額	時価	差額	貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が 貸借対照表 計上額を 超えるもの	政府保証債	100	100	0	-	-
	社債	399	403	3	399	401
	合 計	500	504	4	399	401

(注) 貸借対照表計上額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

[その他有価証券]

(単位：百万円)

種 類	令和5年2月末			令和5年8月末		
	取得価額	貸借対照表 計上額	差額	取得価額	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表 計上額が 取得価額を 超えるもの	国債	2,073	2,193	120	2,073	2,180
	社債	800	837	37	800	834
	小計	2,873	3,031	157	2,873	3,015
貸借対照表 計上額が 取得価額を 超えないもの	国債	16,094	14,606	△ 1,487	16,380	14,764
	社債	2,100	1,966	△ 133	1,800	1,697
	小計	18,194	16,573	△ 1,620	18,180	16,461
合 計	21,068	19,604	△ 1,463	21,054	19,476	△ 1,577

(注) 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

8. 令和5年度下半期の取り組み

営農事業

- ・米全量集荷の呼びかけにより、安定した数量を確保することで販売先との信頼関係を構築するとともに、早期販売による共通経費の削減に努めます。また、積極的な宣伝・広告活動を展開してまいります。
- ・高品質麦の生産のための麦栽培講習会を開催します。
- ・販売営業グループにより、市場・量販店・全農と生産者手取りアップのための契約条件の見直しを実施し、青果物の有利販売による更なる所得増大を目指します。
- ・パッケージセンター運営では、施設の荷受状況を把握し稼働率の向上に努めます。また、出荷アイテムを検討し有利販売に努めます。
- ・青果物各品目で統一目揃会等を開催し、高品質な農産物の集出荷による販売額の向上に取り組めます。

購買事業

- ・令和6年産春肥予約取りまとめにおいて、「B Bひとふりくん側条086」ほか2品目を対象に肥料価格高騰対策費を充当し価格抑制に努めます。
- ・水稻農薬・各園芸品目の予約取りまとめにおいても、近隣店舗の市況を踏まえた価格設定および全農との共同協議を実施し、生産資材の価格安定による生産コスト低減に努めてまいります。

信用事業

- ・組合員・利用者の人生設計に必要となる資産形成・運用ニーズに対し、より適切なサービスや金融商品の提案を行います。
- ・社会保険労務士による年金無料相談会を各支店で開催するなど、複雑な受給手続きのサポートを行います。
- ・営農経済担当部署と連携し、農業融資等に関する資金ニーズの把握と情報提供に努めます。
- ・ネットバンク・ネットローンの利用促進により、顧客利便性の向上と新規顧客の獲得を図ります。

共済事業

- ・J A共済をご利用頂いている組合員・利用者へ日頃の感謝『ありがとう（サンキュー）』を伝えるとともに、契約者のみなさまの『安心』と『満足』をお届けするため、3つのQ（クエスチョン）を通じて、ご加入内容の確認・点検を実施致します。

※3つのQとは

- 1、ひと保障の請求もれがないかの確認
- 2、いへの保障の請求もれがないかの確認
- 3、ご家族にお変わりがないかの確認

福祉事業

- ・利用者が元気に暮し続けられるように、感染症予防等と介護予防の取り組みを継続してまいります。
- ・市、町包括支援センター等と連携し、中重度者の積極的な受け入れとともに自立支援に取り組めます。

その他事業

- ・J Aくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化を図り、地域に必要とされるJ Aを目指します。
- ・広報誌、ウェブサイト、農産物直売所等や各種メディアを活用した情報発信に努め、J A事業の理解促進に取り組めます。

- ・総合事業展開による組合員ニーズへの対応と、地域社会の活性化への貢献を実現するため、財務基盤の強化に取り組めます。

『以上のような取り組みを行うとともに、今後も経営の透明性・健全性・信頼性のさらなる向上に努め、組合員・利用者の皆様のご期待に応えて参ります』



LINE 公式
アカウント



お得な情報や

施設臨時稼働などを

リアルタイムで配信！

公式
ホームページ
イベント情報や



営農情報等を随時配信！